

# 実践発表

御殿場市立御殿場中学校

目指す生徒像（本校グランドデザインより）

ウェルビーイングの実現

☆主役は『みんな』☆

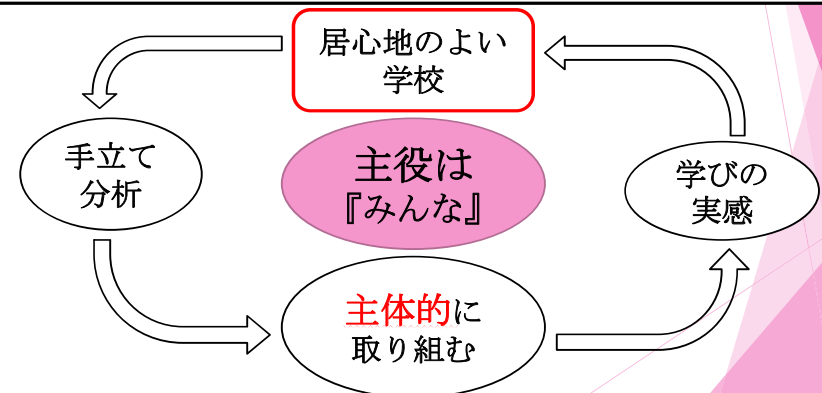
- ・だれひとり取り残すことなく居場所のある学校づくり
- ・安全安心な学校環境

## 研究における主な取組

- ①授業改善を柱として「主体性」を育む
- ②発達支持的生徒指導の視点を踏まえた授業実践・事後研修・取組の振り返り
- ③生徒が安心して過ごせる環境づくり
- ④プランニングシートを活用した教育活動の見直し

【研修テーマ】

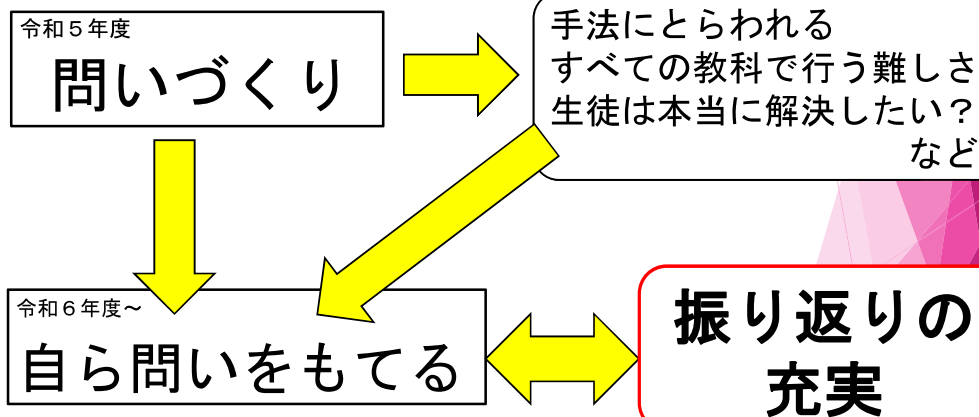
みんなが主体的に学ぶ授業づくり



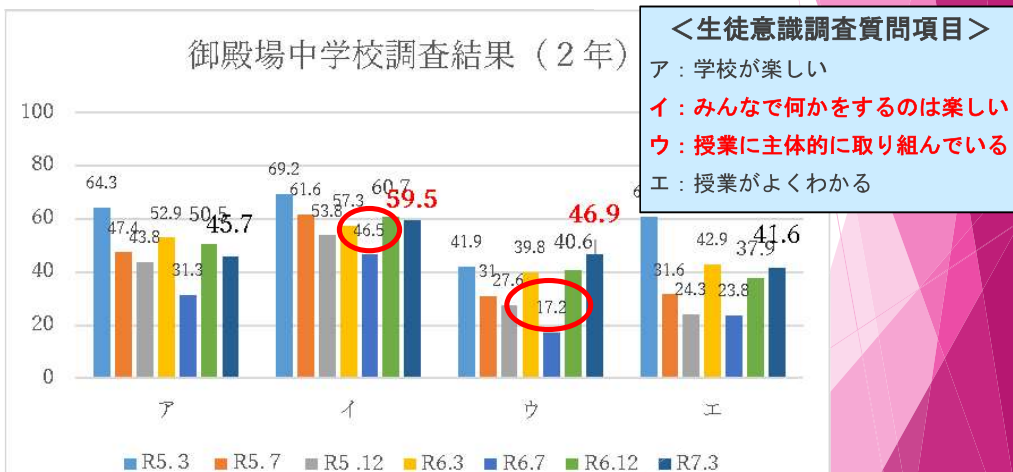
# 主体的に学ぶ姿（教科）

国語	社会	数学
<p>学習内容を日常生活につなげる、生かしている。</p> <p>学習した用語を用いて例文を考えたり、思考法を生活場面や別の単元で転用したりしている。</p> <p>上記のような資質・能力を発揮するための土台となる姿がある。</p> <p>意見を練り上げている、推敲している、意見を取り入れる等全てのレベルにおいて「国語の授業を楽しもうとする」ことが重要な姿勢として貫いている。</p>	<p>授業の各場面において次のような姿を想定した。</p> <p>○出会い→社会的事象に対して自ら疑問をもつ</p> <p>○追究→適切な資料の選択、多面的多角的に考える姿勢</p> <p>○合意形成→自分の意見や立場を決定し、他者と関わりながら考えを確立・深化させる</p> <p>○終末→社会的事象に対して自らの考えをもつ</p> <p>○生活に生かす→学びを日々の生活等に生かし、行動に移す</p>	<p>知りたい、解きたいなど、前向きな姿勢</p> <p>生徒が教え合いをすること、協働的な学びの姿</p> <p>1人で集中して取り組む姿</p> <p>わからないことを教員、友達に聞きながら解決しようとする</p> <p>できる子、得意な子が分かりやすい教え方がないか考える</p> <p>苦手な生徒でも、できるところまでは1人で行う</p> <p>1つの考え方で終わらない</p>

## 「主体的」の具体化



## 分析する視点の焦点化



## 令和7年度のスタート

- 新学級での仲間との関わり  
⇒安心して生活できる場
- 生徒が創り上げる学校生活  
⇒みんなが主役（活躍の場の設定）
- 振り返りを充実させ、成長したことを明確に  
⇒頑張りが認められる環境

# 意図的に生徒の良いところを共有



# 教科部で「観」を共有

# 教科部での研修

7/8	下書き <持ち物> 鉛筆・定規・コンパス等	自分の心の中の下書きを完成させる	実際にいるようにするために壁の立体感を出すことを意識して下書きをした。前回の構成で決めた大きさを壁や人を細かく描くことができた。人はまた描き終わっていないので次回は人を完成させたい	遠慮性? 必要か?
7/12	配色計画	下書きを完成させ、完成形をイメージしながら配色を考える	配色まで考えることができなかったけれど前回終わらなかった人の後ろ姿の下書きを完成させた。下書きをする時に余白を少なくして大きく書くことを意識した。次回配色を考え終えて色塗りに入っていきたい。	どのくらい? 手紙の書き方! 色塗り!
9/2	配色計画	配色を考える	お祭りがモチーフなので楽しい様子を表すために色を多くすることを意識した。配色を参考にして色が多岐にわたるので、次回塗りきりまで頑張りたい。また、右は重要なことをよく覚えておく(黄色)にして、左は...	お祭りの雰囲気! 時間! 情報! Fight!

学びの振り返りから  
教師の見取り、励まし、  
価値付け、次時以降への働きかけ

# 授業研修 (道徳)



## それぞれの指導部が意識する4つの視点

- 学習部  
学習目標・計画の作成  
Ⅲ 自己決定の場の提供
- 特別活動部  
日々の生徒会活動や学校行事  
Ⅰ 自己存在感の感受 Ⅱ 共感的な人間関係の育成
- 生徒指導部  
生徒への挨拶、対話、賞賛、励ましの言葉  
Ⅰ 自己存在感の感受 Ⅳ 安心・安全な風土の醸成

## 主役は『みんな』の生徒会活動

前期生徒会スローガン



### 創る～あなたも主役～



〈前期生徒会活動方針〉

認め合った仲間とともに、みんなの意見で御殿場中学校を創ることを通して、生徒一人ひとりが積極的に生徒会活動に参加する御殿場中学校を目指す。

## 久我直人先生要請訪問（5月・9月）



全学級授業公開  
全校生徒への講話  
教員研修での講義



I を伸ばし  
We の世界を広げる

## R7年度1学期末の生徒意識調査（1年生）



- ・何事も意欲的に取り組む姿勢が、学年全体に前向きな雰囲気を作っている。
- ・教師と生徒、生徒同士の関係性の良さが生まれている。
- ・「主体性」への認識のズレがあるのでは？

## R 7年度 1学期末の生徒意識調査（2年生）



- ・生徒が自ら考え、創り上げることができる機会を設定。
- ・教師側の見取り、働きかけにより、主体的に学習に取り組むことができる環境を生み出すことができた。
- ・「自分にできることは何か」を考えることができる。

## R 7年度 1学期末の生徒意識調査（3年生）



- ・年度初めは減少傾向にあったが、今年度は横ばい
- ・学校行事だけでなく、係や委員会など日々の活動で仲間と協力する良さを実感することができていた。
- ・学習における成功体験を積み重ねたい。

## プランニングシートの作成から

取り組むべき課題が明確になった

生徒の良い面を高める意識付け

実践を価値付け

指導の方向性を確認

無自覚の実践を自覚化

目指す生徒の姿を共有できた

## 取組の成果

- ・実践の振り返り、共有⇒教師が無自覚の実践を自覚化
- ・意識的に生徒の実態把握に努める  
⇒生徒の頑張り、良さを共有、教職員の対話
- ・生徒がいきいきと活動できる場の設定  
⇒主体的に取り組む授業、生徒会活動等
- ・教師と生徒が関わる場の設定（8時開門、休み時間等）  
⇒居心地のよさ、安心できる環境
- ・新学期の関わり方の見直しにつながった
- ・各分掌との連携、共通意識をもった指導

## 取組の課題

- ・ 共有したことを一つ一つ実践すること
- ・ 意識調査の時期による生徒の心情の変化
- ・ 教育課程内で研修の時間の確保  
(他にも実践したい研修がある)
- ・ 毎年、新組織での共通理解
- ・ 授業実践を生徒の学力定着につなげていく

最後まで御清聴いただき、  
ありがとうございました。

御殿場市立御殿場中学校 職員一同